

中学部 1年生 音楽 年間計画

【1段階】

指導内容	単元名 (仮)
<p>ア 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導 生活単元学習</p> <p>(ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、歌唱表現に対する思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㊦及び㊧について気付くこと。 ㊦ 曲名や曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ※㊧→2年次に学習</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい歌い方で歌うために必要な次の㊦から㊩までの技能を身に付けること。 ㊦ 範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりする技能 ㊧ 発声の仕方に気を付けて歌う技能 ※㊩→2年次に学習</p>	<p>(指導要領 P372～)</p> <p>○生活年齢、発達の段階に応じた、日常生活に関連した曲を取り扱う。 ○主となる歌唱教材については下記を含めた独唱、斉唱で歌う曲。 <共通教材> ・うさぎ ・茶つみ ・春の小川 ・ふじ山 ・さくらさくら ・とんび ・まきばの朝 ・もみじ ○国歌は時期に応じて適切に指導 ・君が代</p>
<p>イ 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導 生活単元学習</p> <p>(ア) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㊦及び㊧について気付くこと。 ㊦ 曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ※㊧→2年次に学習する</p> <p>(ウ) 思いや意図にふさわしい表現をするために必要な次の㊦から㊩までの技能を身に付けること。 ㊦ 簡単な楽譜を見てリズムや速度を意識して演奏する技能 ㊧ 音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能 ※㊩→2年次に学習する</p>	<p>(指導要領 P374～)</p> <p>○打楽器や旋律楽器を使って、簡単な楽譜などを見て、友達と一緒に演奏する。 ○(イ)㊦ 例:「ゆったりから弾む感じ→(タッカ)のリズムが多くなった」に気付く等 ○(ウ)㊧ 力をコントロールして強弱やアクセントを意識し、全体の響きを感じながら演奏する。 例: 卓上木琴、卓上鉄琴、卓上ベル等</p>
<p>ウ 音楽づくりの活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導</p> <p>(ア) 音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の㊦及び㊧をできるようにすること。 ㊦ 音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ること。 ※㊧→2年次に学習する</p> <p>(イ) 次の㊦及び㊧について、それらが生み出す面白さなど関わらせて気付くこと。 ㊦ いろいろな音の響きの特徴 ㊧ リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴</p> <p>(ウ) 発想を生かした表現、思いや意図に合った表現をするために必要な次の㊦及び㊧の技能を身に付けること。 ㊦ 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせたりして表現する技能 ※㊧→2年次に学習する</p>	<p>(指導要領 P376～)</p> <p>○設定した条件に基づいて音を選択したり組み合わせたりして、簡単な音楽をつくる。 ○(ア)㊦ 例:「これらの音をこうしたら面白くなるかな」といった自分の新しい考えをもつ。 ○(イ)㊦ 例: 音の高さや演奏の仕方を変えることによって響きが異なること等に気付く。</p>
<p>エ 身体表現の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導 生活単元学習</p> <p>(ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取り、体を動かすことについての思いや意図をもつこと。</p> <p>(イ) 次の㊦及び㊧の関わりについて気付くこと。 ㊦ 曲の雰囲気と音楽の構造との関わり ※㊧→2年次に学習する</p>	<p>(指導要領 P378～)</p> <p>○リズムの特徴や曲の雰囲気を感じ取りながら、示範を見て体を動かすことや友達と動きを合わせて表現すること。 ○(ウ)㊦</p>

A 表現

	<p>(ウ) 思いや意図にふさわしい動きで表現するために必要な次の㉗から㉙までの技能を身に付けること。</p> <p>㉗ 示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現したりする技能</p> <p>㉘ 音や音楽を聴いて、様々な動きを組み合わせる技能</p> <p>※㉙→2年次に学習する</p>	<p>示範を参考にして動き、速度やリズム、曲の雰囲気等、感じ取ったものをより複合的に身体表現できるようにすること。</p>
B 鑑賞	<p>ア 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。 教科別の指導</p> <p>(ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くこと。</p> <p>(イ) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かること。</p>	<p>(指導要領 P380～)</p> <p>○曲想とリズムや速度、旋律の特徴等の関連に気づき、曲や演奏のよさを見いだせるようにする。</p>
	<p>(1) 1段階と2段階の「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。</p> <p>ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えること。</p> <p>イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて理解すること。</p>	<p>指導のねらいに応じて適切に選択・関連付けて必要に応じて指導する。</p> <p><音楽を特徴付けている要素></p> <ul style="list-style-type: none"> ・音色 ・リズム ・速度 ・旋律 ・強弱 ・音の重なり ・和音の響き ・音階 ・調 ・拍 ・フレーズ <p><音楽の仕組み></p> <ul style="list-style-type: none"> ・反復 ・呼びかけとこたえ ・変化 ・音楽の縦と横の関係
共通事項		

